Ⅰ）総論

1） 石油以前のエネルギー源としての森林

薪炭林、山菜、狩猟、信

2） 人工林の現状

富士山における防風林 / 北海道における棒霧林 / 習志野におけ

3） 森林飽和と放置山林の荒廃

4） 天然林の活用術

特例　島超峠における灯台木づけ林
横川集落における、なだれ防止原生林

5） 森林の区分

天然林
人工林　甲材林　（杉・雑木・松・檜・唐松）　《森林の境界確認》

6） 用途別の区分

水源涵甲林　／　なだれ防止林
落石防止林　／　地滑り防止林
里山林（薪炭、落葉、山菜）

Ⅱ）各論

1） 木の立ち姿（盆景）

直幹、斜幹、双幹、懸崖、三幹、五幹、千本立ち
頂点分岐（伐採時に要注意）

2） 木の根と枝それぞれの役目

3） 育苗

山どり、実生、さし木、とり木（草巻・ヒバ）

4） 地ごしらえ

① 適地の選定　②現生木の確認：　明治神宮　鎮守の森　天然林

→ 地・水・風・空（日照）

風水
- 雑木再生による発育抑制
- 密植による発育抑制
- 群馬における檜の苗管理

年輪のつくり方
雪国における失敗例

材木の価値を高めるのは初期成長の抑制
同幅年輪の価値（板目、柾目の密度）

5） 植林

適期　植え穴のつくり方　間隔（斜度）　覆土・圧迫、苗の表裏、樹種
木の移動

6） 育林

草刈　適期
柴刈　適期

注意すべき障害

① ウルシ、トリカブト、サルトリイバラ
ノイバラ、イラクサ、フジツル、アオ

② スズメバチ類
オオスズメバチ・キイロスズメバチ・アシナガバチ
キイロバチ・オコンバチ・ジバチ・ミツバチ

③ マムシ・アブ・ムカデ・ケムシ

7） 伐倒術

伐採木の選定と時期
伐倒技術
天・地・人の法則
安全用具
特殊伐採技術　枝おとし、立木くずし、かけなげ、かけとばし
チルホール使用、重機使用
（材を傷つけない。搬出方向見当。地主のちがい）